



みのり通信

第7号

発行 平成25年1月23日
特定非営利活動法人みのり福祉会
〒285-0862
千葉県佐倉市新臼井田8-3
043-462-6424

会報のバックナンバーは、ホームページ www12.ocn.ne.jp/~minorihm に掲載してあります。

ごあいさつ



新年にあたって

理事長 立田 芳弘

新年あけましておめでとうございます。新年におきまして、旧年に増してご支援ご協力をお願い申し上げます。

お願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、様々な事件、事故がありました。混迷した政治も昨年のものでした。暗い話題がたくさん思い浮かびますが、その一方でロンドンオリンピックでの数々の感動名場面、ノーベル賞受賞など私たちを元気づける明るいニュースも多かった一年だった様な気がします。

みのり福祉会の昨年といえば、青空協同組合（就労継続B型）の開設、児童デイサービスひまわりの移転、職員の結婚ラッシュ、4名の職員の増員、利用する方の事故、利用する方の就職増等良い話もあれば暗い話もありました。

今年はどうな年になるのでしょうか？

さて、福祉の動向ですが、4月からは障害程度区分から障害支援区分への見直しが行われるます。またケアホームとグループホームの一元化や重度訪問介護の対象拡大等も行なわれます。どんな内容で、どのようなメリット・デメリットがあるか先行きはまだ不透明ですが、少しでも利用する方の暮らしが良い方向に代わって行ってほしいものと思います。

国の情勢はともあれ、みのり福祉会は今後とも障がいのある方の「自分らしい暮らし」を応援していこうと考えます。

今回のテーマは「今年の抱負」です。

職員がどんなことを感じ、どんな想いを持っているか感じとっていただければと思います。

川嶋司朗



みなさん明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今回のお題目はなんと「今年の抱負」です。「なんと」と言うほどの事ではありませんが、何か抱負を持たねば…とすることで、考えました。もちろん、法人の運営を適切にかつ安定させていくために努力する事。これは理事長から毎年いただける「ありがたーい

宿題」ですので、それ以外にもうひとつ…。

宿題」ですので、それ以外にもうひとつ…。

今年、自分の中で「凝固まった」色々なものを柔らかくしていきたいと思っています。身体の凝りは勿論なのですが、「考え方」や「感じる心」、歳を追うごとに「しょうがない…」「まあいいか…」とあきらめて固まっていく部分をもう一度柔らかく再生していきたい。自分にとって大切なものを忙しさによって失くさないように、忘れないように今年は何よりも精いっぱい努力したいなーと正月早々思ったわたくし川嶋でございます。おっさん43歳、頑張らねば…。

今年の抱負

川嶋 聡一

明けましておめでとうございます。ピースの川嶋聡一です。このときが来るとは思っていました。ついに30代最後の歳を迎えました。来年の今頃は、「ついに40代突入!!」なんて文章を書いているのが容易に想像できます。私、スポーツが好きなのでスポーツニュースをよく見るのですが、先日スキージャンプの葛西選手が

40歳であることを知り、「葛西も40でまだ頑張ってるのかあ〜」と思うや否や、「40って俺じゃん!!」とハッとしました。スポーツの世界では、そろそろ引退もしくはすでに引退という年齢なんですよねえ。私なんかはアスリートと違って元々体を鍛えてきていない分、この歳でも十分まだ鍛えられると変な自信がありまして、とりあえず今年は体力向上させようと思っています。体力があ

れば気力も湧くでしょうと大変シンプルな考えのもと、とりあえず地元のスイカロードレース10キロに出ようと考えています。ちなみに12~13年前に出たときは5キロにもかかわらず下り坂で調子に乗ってペースを上げすぎ完全なスタミナ切れの上、名物の給スイカ（水の代わりにスイカが置いてあります）も味わわないまま終了という残念な有様でした。

瀬浪 真子

この3月で息子が小学校を卒業する。今思うとここまで来るのにあっという間であった。ついこの間生まれたばかりなのに・・・という感覚である。自分の小学校時代は随分長く感じたのだが、親になってからは時が経つのが恐ろしくくらいに速い。しかし、時はあっという間に感じても毎年着実に1歳ずつ歳を取っているわけで、10年ほど前の自分の写真を見て、改めて時の感覚を取り戻すのである。

先日、町で中学校時代の同級生

を見かけた。卒業以来だったが、面影が残っていたのですぐにわかった。しかし、失礼ながらとても老けて見え、この人と同じ年であるということにショックを受けた。同じ年齢でもとても若く見える人と、えらく老けて見える人がいる。最近、私も鏡を見てハッとしました。ちょっと前までは気にならなかったが、眉間に怒り皺を発見した。普段の家庭生活において子どもを叱る機会が多いためなのか、生活感が顔に出ているなど感じる。気が付けば音楽を聴いたりテ

レビを観たりする余裕もないまま、慌ただしく毎日の生活をこなしていくことに精いっぱいだった。ただ、このように上手くストレスを解消できないことは、周りの人にとっても自分にとってもあまり良い影響を与えていないと思う。

そこで今年の抱負は、「余暇の充実=心の余裕=心身を若く保つ秘訣」を念頭に、今年は今まで後回しにしてきたことを少しずつやってみたいと思う。

仲村 秀行

今年も良い年であるためには、己が健康であることのみなさんと楽しく仕事ができることを望みます。

斉藤 秀美

昨年は、自分にとって色々な意味で辛抱や耐える年でもありました。

みのり福祉会の職員となり、約半年になりました。

今年は色々な事にチャレンジしてひと回り体ではなく（笑）心が成長できればいいなと思っています。

自分に余裕がないと、人

の気持ちを読み取れないものです。特に我が家の朝はバタバタで3才の息子に振り回され・・・時間に余裕を持って家をとても好奇心旺盛な息子は、寄り道ばかりで困ったもんです。

しかし、何でも見てみたい!触ってみたい!を大事にし焦る気持ちを抑えて見守っていきたく思います。



高橋和也
瀬浪真子
仲村秀行 神野孝浩 川嶋聡一 斉藤秀美

神野 孝浩

高齢者支援を10年6ヶ月経て、障害者就労支援に携わり3ヶ月経ち年が明け、新たな気持ちで望む一年である。まだ、数ヶ月の障害者に対する支援であるが、色々な発見・課題・現状の障害者支援に対しての疑問等が自分なりに見えてきた。

障害の状態、精神・知的・身体と大きく三つ分けられ、今現在のピースの就労支援に関しては主に精神障害・知的障害の方の支援になるわけであるが、知的障害の方は情報を見る限り主に先天性の障害であるので、人により様々であるが本人の学習・努力では限界があり、それに対しての支援を考え

させられる場面がある。例えば計算を一つとってみると、本人が学校または環境でどのような教育を受けてきたか詳細は不明であるが、今現在の理解度を自分なりに見る限り簡単な計算（足し算・引き算）はもう少しどうにかならなかったのかと疑問があり、就労支援の中でどう支援していけばと正直考えてしまう。

精神障害の方は情報を見る限り主に後天性である事が見受けられる。人により幼年期・少年期・青年期・壮年期・老年期と精神的に障害となった原因時期が違うので支援の仕方も角度を変えて行なうなど正直難しい。また、精神的問題は人生をおくる上で健常者を含め

誰しもが悩んだり考えたりと心に対して負荷をかけているので、昔も今も精神障害の方だけの問題ではないと思うので、幅広い視野で考えて行かなければならないと思うのである。

以上のように発見・疑問・課題が色々ある中で、この一年間を通して試行錯誤を繰り返しながら、今までの経験を生かして支援を行っていきたい。また、私自身の昔からの考えである「仕事は楽しくなければならぬ」は今も変わらないので、言葉・考え方として正しくはないかもかもしれないが支援・仕事を楽しく行なっていきたい。

高橋 和也

この会報が楽しみで首を長〜くして待っていた1億3千万人のファンの皆様、こんにちは。

最近、昼間にやっている韓国ドラマを録画して、夜、嫁さんと鑑賞する生活リズムになり遅い韓流ブームになっている高橋和也です。昨年末の選挙では投票用紙に高橋和也と書きそうになった人がいたとかいないとか。冗談で嫁に出馬の話を持ちかけたら真顔で『出馬させるお金がない』と一発で跳ね返されてしまいました。

さてさて今回のお題は『今年の抱負』ということで文字数指定は無いみたいです。お約束通り話は変わりますが先日、テレビのお正月特番で中学生の野球少年が家の中で毎日バッティング練習をしていました。そんな映像を見てお粗末ながら昔プロ野球選手を夢見ていた自分を思い出しましたよ(笑)自分も小学生の頃に家の中でピンポン球を打ったり、庭の物干しにネットを括り付けてバドミントンの羽(シャトル)を使ったトスバッティングを毎晩行っていました。もちろん一人では出来ないので父

親に練習相手になってもらい厳しく指導してもらいました。あの当時は素振りのし過ぎで手のひらにマメができてバットが握れなくても父親との練習が楽しくて痛みなんか忘れてしまうくらいでした。そんな純粋な野球少年がどうしてこうなってしまったのだろうか??(笑)

釣りという甘い誘惑には勝てませんでしたΣ(「□」;)!!

中学生になり野球バットを釣竿に持ち替えた自分を父親は嫌な顔ひとつせず遠くの釣り場まで車で送り迎えをしてくれました。勉強机に座るのが苦手だった自分は体育科の高校に進み半強制的に野球部に入りましたが何故か寮に入らなければならぬオマケ付き(笑)小学生の頃の自分だったら毎日が楽しめたのかもしれませんが当時は釣りに気持ちが傾いていたのでどうやって練習をサボろうかと常に悩んでいた3年間でした。ただ、寮生活だったので自分で洗濯、食べた後の食器の片づけが当たり前になっていたのか、練習が休みで実家に帰った時、何気なく食べ終わった食器を片づけている自分が

いたのです。今までは食べ終わったら当たり前のように片づけないで席を立ていたのでその時の母親の目は豆鉄砲をくらった鳩(°O°)の様でしたよ!!

今思えば昔からやりたいことをやっていたしワガママもたくさん言ってきた気がします。その分、父親の立場になった今では親には本当に感謝できるし、子供にも同じように接してやりたいと思っています。だって息子が『釣り行きたいよ〜』っていえば嫁にデカイ顔して自分も釣りに行けるもん。なんてね。チャンチャン♪♪

……あれ?今年の抱負を語るのを忘れていました(「◇」)

今年の抱負は…………『思いついたら即行動』かな?別に意味はありませんけど何か?

今年も高橋和也をよろしくお願ひします。イエ〜イ!!!



今年の抱負

宮城 かおり

去年は、いつも睡魔に負けて朝はギリギリ。時間もなく、ついお弁当を買ってしまう事が多く、お金が出ていくばかり・・・。

今年は節約して、貯金がした～い\(^o^)/

そこで、今年は「毎日お弁当を作る！」を抱負に頑張りたいと思います！

マイホーム積立コツコツ♪
食べたつもりでコツコツ♪♪
買ったつもりでコツコツ♪♪♪

佐山 優香

自分のやるべき事を頑張るべし！！

気持ちに負けず頑張るべし！！
とにかく！！今できる事、今しかできない事を後悔しないように突き進むべし！！

2013年！！
最高の年にするぞ！！

金野 綾子

私の2013年は人生の転機！
今までしていなかった、様々なことに挑戦していきたいです(^o^)
そして自分が幸せになり、私の周りにいるみんなもHAPPYになると良いなと思います♪…というか、HAPPYにしてあげますね、みなさん♡♡♡

三好 優哉

新しい年がスタートしました。
今年でやっと私は20歳を迎え1月には成人式を迎えます。成人を迎えても子供の無邪気な気持ちを忘れず、なにより大人な対応で支援をしていきたいと思えます。

今年の私の抱負は、去年出来なかった事を今年は出来るようにして様々な事に挑戦したいと思っています。

仕事以外でも去年達成する事が出来なかった、ダイエット・貯金・筋肉トレーニングは今年こそ達成出来るよう頑張りたいです。なによりも今年絶対に達成させたい事はとても可愛い彼女をつくる事です。以上が今年の抱負です。

高橋 良彰

「人が動くを書いて“働く”となる」
正月休みにゴロゴロしながら観たテレビでそんな言葉を知りました。また、最近の脳科学によると、人が“やる気”を発揮するにはまず動くことが重要で、「やる気→行動」ではなく、「行動→やる気→行動→・・・」なのだから。そうか、

やる気スイッチは動けば押せるのか。
「忙しいから後で」と言い訳して、面倒な業務をついつい後回しにしがちだった今までの自分を反省し、今年はより動き、よりたくさん働くことを目標に頑張りたいと思います。キープオンムービーン！



佐山優香 高橋良彰
伊藤郁 三好優哉 宮城かおり
大木静華 金野綾子

大木 静華

2013年の抱負は、やっぱり「健康に過ごす！」です。

昨年も一昨年も、初詣に行ったお寺で「健康」を願ってきました。そのおかげなのか、大きな病気にかかることなく、健康に過ごす事ができました(^-^)

以前はよく、恋愛のことを願ったりしていましたが…それも健康でないと出来ないことですもんね～(。)

だから今年も「健康を第一」に考え、仕事と恋愛も上手くやっていけたらいいなあ、と思っています\(^o^)/

伊藤 郁

去年は忙しく、あっという間に一年が過ぎてしまいました。

年末年始のお休みも、家にいると「あそこが汚い！」「あれもやらなきゃ！」と結局バタバタした毎日。

そんな日々を振り返り、今年の抱負をくひと息つく時間をもつ>にしてみました。

例えば、コーヒーを座ってゆっくり飲む！ここに好きな音楽も一緒に聞いたら最高です♪

後は空を見ながら深呼吸をする！お買い物の時、可愛い雑貨のあるお店でウィンドウショッピングを楽しむ！などです。こんなことと自分でも思うのですが、子育て真っ盛りの家庭の主婦にはなかなか

持てない時間ですよ。

心のゆとりをもつのはエネルギーを蓄えられるということ。

心のエネルギーがあれば、毎日の生活にも余裕が出てくる！

そして、子育てにも余裕が持てたらいいなと願う私です(*^_^*)

ちなみに、我が家の一コマですが、昨夜、最近流行の「女々しくて」の歌を子どもたち3人が踊りながら、声をからし、3回も歌っていました。マットをずらしながら、ジャンプしてポーズ♪そのパワーたるや本当にすごい！そんな3人に対抗するためには、親もエネルギーをためなくては(^)v

こんな私ですが、今年もよろしくお願ひします。

市原 章子

今年の抱負！！「1日1日元気に過ごす」です。

元気で健康であれば元気に動ける！買い物できる！家事も炊事もできる！

元気よくいっぱい笑う！そんな1年を過ごそうと思います。

ただし、脱線する事無く周りに迷惑を掛けないように…ですね。

菅原 輝代

あけましておめでとうございます。

穏やかなお正月が過ぎ利用者さんたちの元気な顔を見たら仕事モードにスイッチが入りました。受注したチラシのポスティングに納期があり、ぼやぼやしてはいただけません。準備運動も家庭で済ませたような利用者さんたちのスタートダッシュは素晴らしいです。長いお休みがあったことを感じさせないような動きで作業してくれています。

ある方がこんなことをおっしゃっていました。「頑張れるのは頼りにされていると思わせてくれるという言葉だ」と。その言葉には勇気がわき、根気強さを生む魔法があります。私も助けられたうちの一人です。ひとりひとり個性的な皆さんですが、それぞれが良さをたくさん発揮できるように応援していきたいです。

できた時の充実感、達成感、そして成長の喜びと一緒に味わいたいです。今年もよろしくお願いいたします。

富満 一之

青空に入って早二ヶ月、緊張感のある日々を送っています。まだまだ右も左も分からない未熟者で、色々と皆に教えてもらっています。

さて今年の抱負ですが、一つ一つのことを着実に身につけていこうと思えます。今まではただ流れに流され、そのうち身につくだろうと思っていましたが、今年は意識して身につけたいと思いま

す。

まだまだ至らないことばかりですが、早く一人前になれるようがんばりたいと思います。



浅野 亨
川嶋 司朗
菅原 輝代
市原 章子
富満 一之

ほーむ ・ ほーむ2職員

長戸 由香里

今年は、ダイエットに健康ですかね。ほーむの利用者さんもそうなのですが、自分もやばいと思っています。

運動量が少なくなっているのです、まずは歩きですかね。健康は、糖尿に肺炎、風邪から脱水症状をお越し入院するなど、健康に関する問題が続いているので、出来る事から、改善して行きたいです。

森 政雄

昨年後半から「移動支援」の支援員として参加しはじめました。

ホームでの支援、事務仕事にどっぷりつかっていた世界から飛び出て、若い利用者の皆さんとの交流は驚きの連続です。

もうすぐ、支援される立場になるかもしれない年齢になってきていますが、今は若い人達と一緒に行動することで、支援することよりもパワーをいっぱい貰っている現状です。

体力・気力の続く限り支援する立場を維持していきたい、と思います。

大島 芳江

皆様新年おめでとうございます。

21年5月入社、当初はすべてが手探り状態で、食事を楽しみにしている利用者さん達の為、沢山おいしいものを食べていただきたくて、今日は何を作ろうか等と悩みが多い日々でした。

年々工夫しながら「メタボ」にならない様気をつけることに余裕が出て来ました。

親となり、姉（笑）となって接する様努力と信念を持って行きたいと思っています。

自分なりに冗談を言って笑わせたり、悪い事・良い事の区別は、はっきりと言葉に出して思いを込めて説明してあげれば解ってくださる人達です。

これからも自分自身の体もいたわりながら（もう若くはないので）仕事をしたいと思っています。



森政雄
長戸由香里
大島芳江



青空協同組合は、障がいのある皆さんの職場です。利用するみんなで力を合わせて仕事に取り組み、成果を挙げていくことが目標です。もちろん、仕事ばかりではなく、生活や人生相談にも、出来る限りお応えしたいと考えています。レクリエーションや旅行などの余暇活動も行ない、楽しく・充実した毎日をごせるようにみんなで頑張っていきたいと思います。

どんな小さなことでも、難しいことでもみんなで考え、答えを出し

ながら一歩ずつ前へ進んでいく、それが「青空協同組合」です。



地域新聞折込作業



ポストインク作業



畑作業

おめでとうございます

ピースをご利用になっている齋藤尚孝さんが「第9回障害者週間の集い」の作品展で入賞されました。



ご結婚

児童デイサービスひまわり
宮城かおり (旧姓君島)

ありがとうございます

- ✦ 伊藤代々子さん(佐倉市臼井台在住)から寄付をいただきました。
- ✦ 今年も理事の長澤さんから花鉢をいただきました。花の水やりは入居者の方が当番でやっています。



上級救命講習会受講

1月19日(土)四街道消防署旭分署のご協力により、上級救命講習会を実施しました。職員・利用者合計13名が受講し、心肺蘇生法、止血法、傷病者管理のしかた、外傷の手当、搬送法など幅広く勉強しました。

8時間に及ぶ講義と、実際に事故に遭遇したケースでの実技を繰り返し行ない、見事全員修了試験に合格、「修了証」をいただきました。



文時風京